



アオサの種付け 作業始まる

9月、獅子島地区や諸浦地区など町内でアオサノリの種付け作業が始まった。幾重にも重ねられた専用の網が海岸沿いに張られた。年明けからの収穫に向けて、本格的な作業が始まる。

Contents

- 過疎地域持続的発展計画を策定 ②～③
- 大型事業で町の家計は（決算を認定）④～⑤
- 町政を問う（一般質問）⑥～⑪
- 委員会の審査報告 ⑫～⑬

9月の一般質問は…

薄井地区の危険箇所対策は（前田 穂）

新型コロナウイルス感染症対策は（上筋 睦雄）

大学・高専との包括連携協定は（兒玉 誠）

県道の冠水対策は（竹山 司郎）

種苗生産の経緯と今後の取り組みは（小田 勝志）

過疎地域持続的発展計画を策定

地域活力の向上を目指して

令和3年第4回長島町議会臨時会が7月19日開かれ、専決処分1件を承認し、契約など議案3件を審議し原案のとおり可決した。

専決処分は、国の新型コロナウイルススワクチン接種体制確保事業費臨時補助金を活用し、ワクチン接種会場(B&G体育館)の照明をLED化した工事請負費851万4千円。

令和3年第3回長島町議会定例会が9月3日から22日まで20日間の日程で開かれた。

5月の大雨による農地災害の復旧経費や鷹巣図書館を旧鷹巣診療所に移設するための工事請負費などを盛り込んだ令和3年度一般会計補正予算(4億7208万3千円追加、総額111億6961万5千円)のほか、

工事請負変更契約の締結や計画策定など議案7件を審議、協議した結果、原案のとおり可決し、令和2年度決算15件を認定した。

可決された議案は、指江支所庁舎改修工事の工種内容変更に伴う請負工事変更契約の締結や過疎地域持続的発展計画の策定。

また、6日の本会議で川添健町長が、エネルギー自給率の向上を目指し、再生可能エネルギーの利用拡大などの施策展開で、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「長島町二酸化炭素実質ゼロ宣言」を宣言した。

臨時会で決まったこと

港整備交付金工事

本浦地区に浮き桟橋を固定する係留杭を4本設置する。

請負金額9482万円で、工期は令和4年2月4日まで。阿久根建設株式会社と契約締結。

伊唐港整備工事

浮き桟橋本体部分を工場で作成し、伊唐地区まで海上運搬する。

請負金額1億3695万円で、工期は令和4年2月18日まで。ティエス株式会社と契約締結。

マイナンバーカード再交付に係る手数料条例を改正

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正により関連する3条例を改正。

主なものは、個人番号(マイナンバー)カードの再交付手数料の徴収が、町から発行元の地方公共団体情報システム機構に変更され

るため、関連する規定を削除。

これまででは、発行手数料を町の収入としていたが、改正により徴収した手数料を歳計外で受け入れ、同機構に納入する。

定例会で決まったこと

指江支所庁舎改修工事請負変更契約を締結

役場指江支所2階の出入口をバリアフリー化し、2階トイレなどを改修する。

1143万9千円を増額し(総額9921万9千円)、工期を令和4年2月28日までに変更する。

過疎地域持続的発展計画を策定

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行により、過疎地域における持続可能な地域社会の形成や地域資源を活用した地域活力のさらなる向上の実現を目的に、令和3年度から7年度までの長島町過疎地域持続的発展計画を策定。

主な補正予算（定例会分）

鷹巣図書館移設整備事業

49,408千円



鷹巣図書館を旧鷹巣診療所に移設するため、旧診療所1階を改修する。

農地災害復旧費

24,909千円



5月豪雨により被災した農地の復旧経費。

その他の主な事業費（単位：千円）

旧鷹巣診療所駐車場整備事業	3,442
学校教育施設整備基金積立金	100,000
地上デジタル放送無線共聴基本調査委託料	2,640
県指定航路（幣串・水俣航路）補助金	5,390
旅券交付窓口端末機購入等経費	369
薄井・葛輪漁港整備事業に係る負担金	33,110
新型コロナウイルス感染症対策時短要請協力金	5,986
県管理港湾の建設事業に係る負担金	49,696
農地集積などに係る研修経費	745

特別会計補正予算（単位：千円）

○国民健康保険診療施設特別会計	
・臨時医師等報償金	13,962
○介護保険特別会計	
・介護保険システム改修費	825
・国庫補助金清算還付金	7,484

議案に対する討論

【議案第74号】

長島町役場指江支所庁舎改修工事請負契約の変更について

賛成
 今後はわかりやすい説明を求める
 浦 弘成

提案理由の説明では、指江支所庁舎の2階に避難所を開設するための追加工事との説明であったため、地元企業の雇用など考慮し別途工事の発注が妥当と思ひ、常任委員会への審査付託を要望した。

委員会において詳細に審査したところ、1階の公金取扱所や図書館出入口の移設、変更契約の方が経費が安価であることなどが確認できた。

今後は、図面など使用して、わかりやすい説明をされることを求めて賛成する。

【議案第75号】

長島町過疎地域持続的発展計画の策定について

反対
 町の展望が描けない
 上筋 睦雄

原案の計画では、町の姿が描けない。

原案の内容は、令和2年度までに実施した事業の羅列で、ハード事業が主となり、ソフト事業は希薄。疫病対策や、男女共同参画に関する項目が不足し、SDGsは取り上げられていない。再生可能エネルギーに関しては、後ろ向きで消極的な表現が多く展望が見込めない。

計画の改正案提出を求めて反対する。

令和2年度決算を認定

大型事業で町の家計は

令和3年第3回長島町議会定例会では、令和2年度の一般会計と13の特別会計、水道事業会計決算の認定について、決算審査特別委員会に付託された。

議決された予算が目的に沿って適正かつ効率的に執行されたか、どのように行政効果が発揮できたか、今後の行政運営においてどのような改善、工夫がなされているかを主眼に審査した。

下の第1表は、一般会計の決算状況をグラフ化したもので、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた残額は、6億5746万円で、翌年度（令和3年度）への繰越額を差し引くと5億5287万円の赤字となった。これから前年度（令和元年度）の実質収支額を控除した単年度収支額も、3億1493万円の赤字となった。

令和2年度は、役場庁舎改修などの大型事業に加え、新型コロナウイルス対策に係る事業経費などと合わせて、一般会計予算額は一時145億円を超えた。決算では135億円まで歳出経費を抑えられたものの、前年度と比較しても約9億円の増額となり、特別会計と合わせた歳出決算額は185億円となった。

水産種苗供給特別会計が令和3年3月31日で廃止となったことに伴い、決算により生じた余剰金132万円は一般会計の歳入へ編入された。

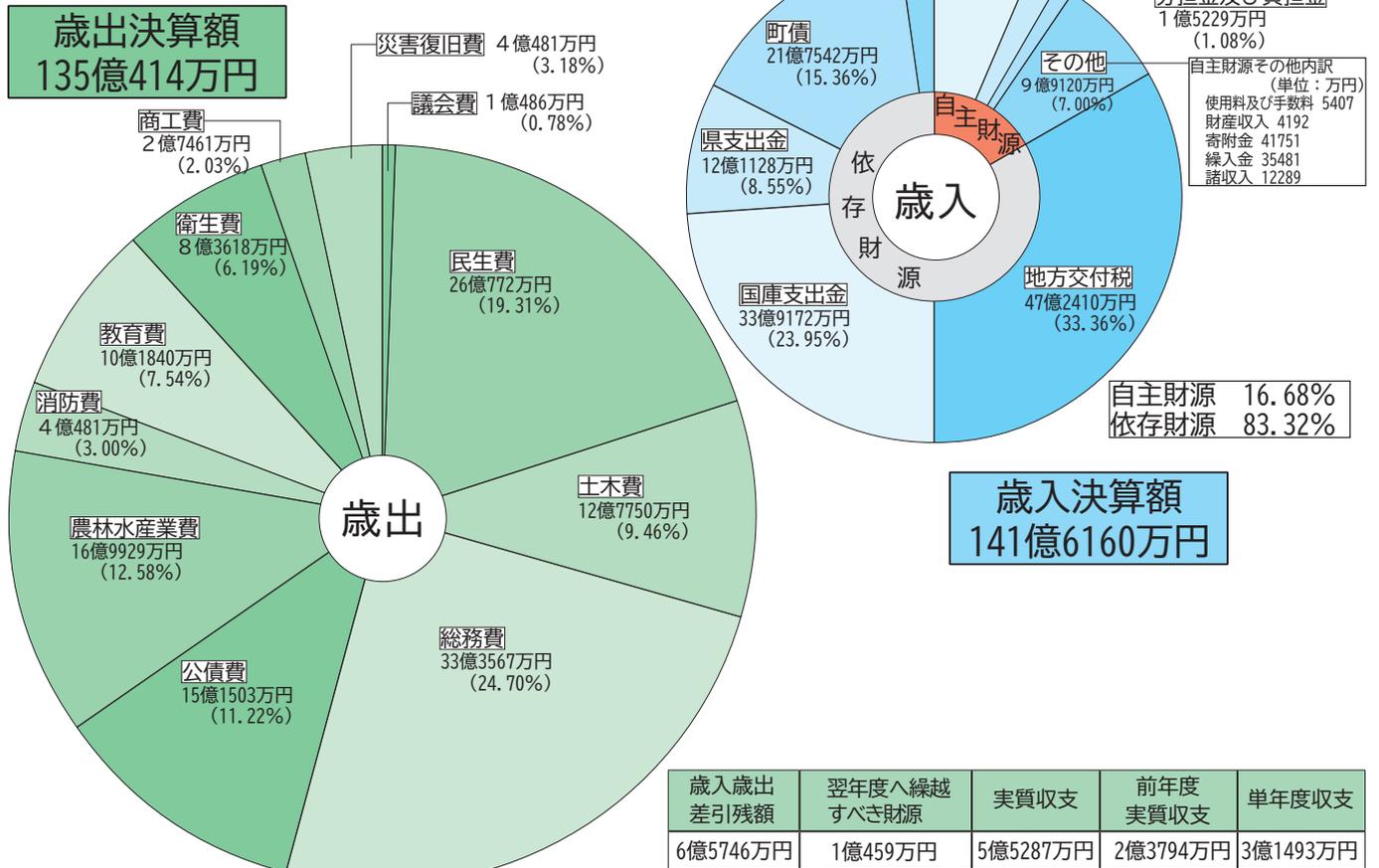
令和2年度から始まった水道事業会計（公営企業会計）では、水道事業収益が3億4035万円で、うち給水収益は1億9073万円で収入の56%を占めた。一方、水道事業費用は3億3842万円で、当年度純利益は193万円となった。

【第1表】一般会計歳入・歳出の状況

※金額は、各項目とも円単位で計算した額を、万円未満四捨五入し計上しているため、合計金額が一致しない場合がある。

依存財源その他内訳 (単位:万円)

地方譲与税	7426
利子割交付金	58
配当割交付金	169
株式等譲渡所得割交付金	169
地方消費税交付金	20930
自動車取得税交付金	278
地方特例交付金	568
交通安全対策特別交付金	142



〔第2表〕特別会計の収支の状況

(単位：円)

区 分	歳入総額	歳出総額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額	単年度収支
国民健康保険特別会計	2,139,479,091	1,951,074,280	0	188,404,811	▲134,903,467
国民健康保険診療施設特別会計	1,162,377,027	1,156,897,011	0	5,480,016	2,749,912
へき地診療施設特別会計	56,475,438	53,629,451	0	2,845,987	▲9,039,686
介護保険特別会計	1,344,175,578	1,299,968,034	0	44,207,544	9,662,729
簡易水道特別会計	35,371,072	32,577,512	0	2,793,560	74,091,257
諸浦港埠頭特別会計	11,045,671	8,080,132	0	2,965,539	1,291,728
農業集落排水特別会計	51,362,853	50,191,729	0	1,171,124	1,603,908
漁業集落環境整備特別会計	42,640,997	41,536,553	0	1,104,444	▲3,346
特定地域生活排水処理特別会計	12,220,150	11,343,753	0	876,397	▲715,834
水産種苗供給特別会計	23,964,932	22,640,050	0	1,324,882	▲835,842
後期高齢者医療特別会計	137,761,447	137,097,529	0	663,918	▲188,120
太陽光発電特別会計	183,520,754	110,376,864	0	73,143,890	▲2,393,979
観光施設特別会計	130,052,690	150,022,166	0	▲19,969,476	▲11,668,573
合 計	5,330,447,700	5,025,435,064	0	305,012,636	▲70,349,313

※水産種苗供給特別会計は令和3年3月31日で廃止となり、余剰金は令和3年度一般会計の歳入に編入された。

〔第3表〕水道事業会計の収支の状況

(単位：円)

水道事業	収益的収支（経常的な運営経費）			資本的収支（水道施設整備などの投資的経費）		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
	359,414,986	353,711,216	5,703,770	0	124,620,362	▲124,620,362

※不足分は、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填した。

委員会の質疑から（一部抜粋）

▼企画財政課

Q. 地方債残高が増加しているが、方針は。

A. 令和3年度からは財政健全化に向け予算規模の縮小を行った。財政シミュレーションでは、今後償還額が多くなるため、起債額を減額していく予定。

▼総務課

Q. 包括業務委託は、関係経費を総務課で、人件費を各課が予算化しているが、どのような管理体制か。

A. 人件費は各課に割り振っているが、実際は総務課で支出している。

▼税務課

Q. 不能欠損の状況は。

A. 令和2年度は、278件、約364万円であった。地方税法に基づくものが265件、介護保険法に基づくものが13件。

▼耕地課

Q. 令和2年度の災害

復旧事業（繰越分）の状況は。

A. 88件のうち66件が完成した。残りも年度内に完成予定。

▼水産商工課

Q. 観光施設特別会計で繰上充用をしている赤字部分は、地方創生臨時交付金などで対応できなかったか。

A. 令和2年度は包括業務委託としていたので、交付金による赤字補填はしなかった。

▼水道課

Q. 下水道事業で、町の負担が少なくならないか。

A. 施設を縮小し人口に見合う浄化槽に換えるなど、最適な方法を検討する。



事業の成果を確認する委員

委員会の

附帯意見

令和2年度の決算は、次の意見を付して認定した。

- ① 包括業務委託は、人件費抑制も目的のひとつ。わかりやすい予算編成を。
- ② 観光施設特別会計では、赤字解消の方法として臨時交付金を活用するなど、今後の予算編成で検討を。
- ③ 鷹巣診療所は、当初設計に基づいた施設運営に努め、利用者（町民）の目線に対応を。
- ④ コロナ禍によるイベント費用などの執行残が多い。補正が必要となった予算は、減額、事業内容の見直しを行い、適正な執行を。

一般質問

町政を問う

1 前田 穂 (7ページ)

- ・薄井地区の危険箇所対策は
- ・温泉センター 営業時間の見直しを

2 上筋 睦雄 (8ページ)

- ・新型コロナウイルス感染症対策は
- ・通学路の安全確保と授業継続
- ・男女共同参画は
- ・脱炭素社会、持続可能な社会への取り組みは
- ・獅子島の交通、行政改革、観光振興は

3 兒玉 誠 (9ページ)

- ・新型コロナウイルス感染症対策は
- ・長岡技科大、鹿児島高专との包括連携協定は

4 竹山 司郎 (10ページ)

- ・県道長島宮之浦港線の冠水対策は
- ・県道葛輪瀬戸線の冠水対策は

5 小田 勝志 (11ページ)

- ・新型コロナウイルス感染症対策は
- ・革新的種苗生産の経緯と今後の取り組みは

一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をただすこと。

単に疑問をばらし、事実関係

を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言するなど、議員の重要な活動である。

令和3年第3回定例会(9月)では次の5人の議員が質問した。

手つかずのままの危険箇所。
今後の対策は

答 協議を進め、対策を図る

薄井地区5カ所の
豪雨災害の現状と
今後の対策は

前田 写真①②は令和
2年、③は平成26年、
④は両方の豪雨災害で
地すべり・亀裂が発生
した。地目が山林、雑
種地などのため、補助
事業で復旧ができず、
手つかずのままとなっ
ている。

今後、時間雨量10
0以上の豪雨で二次
災害が起きると、周辺
に人家があり危険であ

るため、対策をとれな
いか。

町長 ①②③は町での
対応は非常に難しい事
業であるが、急傾斜事
業などの採択基準を満
たすのか県と協議して
いく。

とくに②について
は、危険性が広範囲に
及ぶところであると思
われる。

前田 ①の上に町の貯
水池があり、その管理
道路の流末が原因のひ
とつと考えられるが。

町長 管理道路で影響
があった部分は、町で
責任を持って対応す
る。

前田 ④については、
平成26年9月議会で質
問したが、その後の進
展は。

町長 一般海岸であ

り、良い方策を探して
いるが、万策尽きてい
る状況である。

今のところ、火ノ浦
での災害に準ずる対策
を図る考えである。

前田 ⑤は県による急
傾斜工事後、数十年経
過している。

立木が大きくなり、
豪雨による地すべりの
危険があるが対策は。

町長 立木が法面に影
響を与えるようであら
ば、県と協議して対策
を図る。



発生から手つかずのままとなっている、薄井地区の危険箇所

温泉センターの営
業時間を午前中に

前田 料金値上げは仕
方ないが、100円バ
ス利用者の利便性を図
るため、10時か11時の
開館はできないか。ま
た指定管理の考えは。

町長 時間変更につい
ては、今年4月からス
タートしたばかりなの
で、しばらく様子を見
たい。

指定管理について
は、7月に指定管理者
選定委員会を開催し
た。委員から、前回の
指定管理者の撤退の経
緯や施設を分けての募
集、コロナ禍では時期
尚早であるとの意見が
あった。

施設運営上、指定管
理はひとつの方策であ
るが、今後段階的に実
施していくなどの協議
を進めたい。

前田 穂議員



上筋 睦雄 議員



抗体カクテル療法の導入は

答 必要性は理解している

感染症対策は

上筋 新型コロナウイルス感染症は、6次まん延の可能性もある。状況により町民に対するPCR検査、抗原検査を実施するか。対人接触の頻繁な、医療従事者などへの定期的な検査は。

町長 考えていない。

上筋 自宅療養者に対する「巡回診療」「日常生活支援」は。

町長 随時保健所と協力しながら検討する。

上筋 町内医療機関のネットワーク整備は。

町長 現在ない。

上筋 抗体カクテル療法などの治療法の導入は。

町長 必要性は理解している。導入はない。

通学路の安全は

上筋 スクールゾーンの整備は。

町長 転落・横断防止柵、減速マーキング、横断歩道部を少し高くする「ハンプ」などの方法もある。

オンライン授業は

上筋 オンライン授業の整備は。

教育長 国や県の状況を見据えていく。

多様性を認め合う

上筋 「男女共同参画基本条例」の制定は。

町長 条例の制定ではなく基本計画に基づいて取り組む。

脱炭素社会は

上筋 町は「二酸化炭素ゼロ宣言」をした。「長島町環境基本条例」の制定は。

町長 脱炭素社会構築については、数歩先を進む状況をつくる。

獅子島の交通は

上筋 葛輪片側航路を町道に指定し、町の補助ができないか。

町長 補助は国の基準

に従っている。

上筋 原発事故に備えるため、長島・獅子島・天草市御所浦島に通じる大規模災害避難道路の整備要望は。

町長 獅子島はUPZ圏外。不知火海道路は困難、三県架橋で避難道路確保。

事務のAI化は

上筋 業務のデジタル化、相談、サービスのデリバリー化は。

町長 行政システムの全国標準化を待つ。デリバリー化は人が足りない。
観光振興は
上筋 長崎鼻灯台線沿線にヒマワリを植栽、「海の日」、毎年7月20日前後に海上保安庁との共同イベント、「ライトハウス&サンフラーフエスタ」を企画してはどうか。
町長 道路完成後検討する。



灯台線沿線に植栽されたヒマワリ（上）と長崎鼻灯台

キクラゲ栽培の目的は

答 多目的に試験研究を行なう

新型コロナウイルス
接種の状況は

児玉 専門家が「スペイン風邪に匹敵する100年に一度のパンデミック」と述べるなど危機的状況となっている。ワクチンの集団接種・個別接種の状況は。

町長 65歳以上の高齢者が90%を超え、中学生から64歳までが2回目で83%となっている。

【町内のワクチン接種状況】

○65歳以上 対象者3,910人	
1回目接種	3,654人 (93.45)
2回目接種	3,599人 (92.05)
○中学生以上64歳以下 対象者5,088人	
1回目接種	4,429人 (87.05)
2回目接種	4,249人 (83.51)
◎全体 対象者8,998人	
1回目接種	8,083人 (89.83)
2回目接種	7,848人 (87.22)

※ () 内の数値は接種率 (%)

3回目接種の情報は

児玉 3回目の接種が必要との話があるが、国からの情報は。

町長 国内では、まだワクチンが足りない状況で、国からは通達も何も来ていない。

地方創生臨時交付金
事業の執行状況は

児玉 施設整備やプレミアム付き商品券などが予算化されたが、執行状況は。

町長 この交付金を活用して26事業2億21

00万円を予算化し執行している。

事業継続支援金は81件で795万円。執行率は28.9%。

包括連携協定の各
プロジェクトは

児玉 長島町・長岡技術科学大学・鹿児島高等専門学校との3者による包括連携協定による、産業・環境エネルギー・教育・施設の4部門各プロジェクトの実施状況は。

町長 キャンパス誘致、人材育成イベント、革新的ジャガイモ種苗生産に係る実証実験、エネルギー関連事業など成果を挙げている。

教育長 「イングリッシュデイズ」で留学生との国際交流、「わくわくどきどき科学実験教室」に大学が3ブ

ス設置した。

冷蔵庫の利用協議は

児玉 今年度エネルギー事業で冷蔵庫を2基設置するが、デポポン用と聞いたが生産者団体との協議は。

町長 協議はしていない。今後活用する中で協議する。



冷蔵庫を設置予定の指江支所車庫

キクラゲ栽培技術
開発の目的は

児玉 獅子島でキクラゲ栽培をするためか、ダテグを少なくするためか、二酸化炭素を利



旧獅子島小学校にあるキクラゲ栽培設備

用するためか。

町長 農作物としての確立、発生した炭酸ガスの果樹ハウスへの利用など、多目的に試験研究を行うもの。

児玉 連携協定とは、ワイン・ワインの関係を築くこと。

コミュニケーションを取りプロジェクトの検証・見直しをしながらの実施、見える化を図り、連携協定を継続するのであれば、再点検を求める。

児玉
誠議員

一般質問

竹山 司郎 議員



県道の冠水対策は

答 対策を県に強く要望する

県道長島宮之浦港線の冠水対策は

竹山 県道長島宮之浦港線の小浜地区において、側溝の蓋をグレーチングに変更したが、今回の長雨でまた道路が冠水した。側溝の出口（流末）を広くしてはどうか。

町長 8月11日から17日までの豪雨に伴い、一時通行止めとなった。出口を広くする工事

を行った。

竹山 また手前の川内集落側もよく冠水するが、対策は。

町長 対策を検討、協議した結果、毎回水がたまる3カ所ほどについて、対応を図ろうと計画している。

竹山 田んぼにも回ってみると、川か海かわからないような状況であった。

護岸のかさ上げが必要ではないか。

町長 小浜川については、県に対し全面的な河川対策の改良を強く要望する。



平常時の小浜川周辺



豪雨により川が増水し、山腹からは滝のように雨水が流れ出ている



8月豪雨で冠水した小島地区

県道葛輪瀬戸線は

竹山 県道葛輪瀬戸線も大雨が降るたびに通行止めになるが、県に要望をしているか。

町長 同路線も8月11日から17日までの豪雨に伴い、一時通行止めとなった。

引き続き、県に強く要望を行っていく。県としても、優先的に対応してくれるものと考えている。

種芋生産技術、農家への後押しは

答 町として後押しする

まん延防止等重点措置に伴う時短要請協力金の対応は

小田 8月20日から9月12日まで県内全域に對して要請が出された。

県の要請に応じ協力された事業者の協力金はどのような方法で支給されるのか。

町長 協賛金支給に對する負担割合は、国8割、県・町が各1割で、本町の負担は、598

万6千円である。申請方法は、9月13日から11月5日までに県の事務局へ申請書を直接送付する。

革新的種苗生産（ジャガイモ）の成果は

小田 長岡技術科学大学へ、平成28年度に200万円を補助し、29年度から令和2年度まで研究委託料として、計4700万円を支給した。

町長 これまでに、5カ所のほ場で栽培試験を行い、種芋栽培の収穫データを集積している。町と大学が共同でウイルスフリーの種芋の研究を開始し、革新的な種芋生産技術手法を確立した。

小田 町内全域の種苗生産はできるのか。

町長 春バレイシヨの植え付け面積が約800畝であるため、種芋生産には約70畝必要となる。ほ場を確保できるかが鍵となる。

小田 種苗生産の法人、会社設立はできるのか。

町長 先進地研修や資料収集により、独自で経営収支の試算をした結果、黒字化の見込が

低いと懸念しており、法人などの設立の考えはない。

小田 長岡技科大との今後の連携協定は。

町長 町、長岡技科大、鹿児島高等専門学校の包括的連携協定に基づき、産業振興、環境、エネルギー、教育の分野で連携を図っていく。

小田 今後、農家や法人がこの種芋生産技術を活用する場合、町の

後押しはできるのか。

町長 どのような方法になるかはわからないが、町として後押しする考えである。



小田 勝志 議員



ほ場やビニールハウスでの実証実験



委員会でも詳細にチェック

総務民生常任委員会

委員長 前田 穂

指江支所庁舎改修工事

請負契約の変更

▼総合管理課

Q. 予算の執行状況から、変更契約ではなく、別途発注の考えはなかったか。

A. 変更契約と別途発注を比較したところ、変更契約の方が、現場管理費などが安価になると判断し、予算の有効活用を図った。

Q. 1階の公金取扱所は、どのような改修内容か。

A. 設置場所を現在の位置より（正面玄関から見て）左側に移動し防犯対策に考慮した改修である。



改修が進む指江支所1階

過疎地域持続的発展計画の策定

▼企画財政課

Q. 計画策定について、どのような手法で行ったのか。

A. 町執行部が主導して作成し、パブリックコメントを実施したうえで策定した。

Q. 各種事業内容について、追加や変更の意

見があるが、修正などをするのか。

A. 今回は提案した過疎計画でお願いしたい。

今後においては、必要に応じてローリングを行い、追加・変更などがあれば、議案として提案する。

一般会計補正予算

▼企画財政課

Q. 学校教育施設整備基金について、目標や積立計画があるのか。

A. 目標はない。来年度以降の基金積立計画もないが、今後は学校の大規模改修や統合再編に対応できるように積み立てをしていきたい。

▼町民保健課

Q. コロナウイルスワクチン接種に係る時間外手当は、今回の補正予算で十分か。

A. 今後は国・県への実績報告など事務的業務が主となるため、今回の補正予算で対応できる見込みである。

▼介護環境課

Q. 役場正面玄関にサーマルカメラがあるが、これまでに発熱警報が作動したことがあったか。

A. 今まで発熱による警報が作動したことはない。ただし、外気温が高い日に、感知器が熱風に反応し誤作動したことはある。

国民健康保険診療施設

特別会計補正予算

▼診療所

Q. 報償金については、当初予算で計上されていたが、今回の増額の理由は。

A. 退職者への報償金を支払ったことで、非常勤医師の不足する報償金の見込額を計上している。

定例会で提出された議案6件を二つの常任委員会でも審査しました。各委員会の主な審議内容を紹介します。



役場正面玄関に設置されているサーマルカメラ

一般会計補正予算

▼耕地林務課

Q. 県営事業負担金の負担率はいくらになるのか。

A. 畑地総合整備事業が18・65%、農業水路等長寿命化・防災減災事業が20%となっている。

▼社会教育課

Q. 総合運動公園施設の周辺に防風林などを設置する計画であったが。

A. 周辺にはフェンスを設置する計画である。

▼建設課

Q. 県単砂防のうち、片側川の土砂撤去の場所はどこか。

A. 片側川第二谷川にある砂防ダムで、ス



総合運動公園の進捗状況を確認する委員

リット部分にたまつた土砂などの撤去を行なう。

多目的ダムの堆積物除去も、現在、河川工事中のため、必要があれば担当課と調整する。

▼水産景観課

Q. 薄井港の浮き桟橋を撤去・新設することであるが、現在片

側港に仮置きしているものか。また完成予定は。

A. 片側港に仮置きしているものは乳ノ瀬港のものである。薄井港新設部分も、乳ノ瀬港も本年度完成予定である。

▼農政課

Q. 農業・農村活性化

推進施設事業費のうち、共同で利用するドローン導入の使用目的は何か。また操作免許の有無は。

A. 稲作への農薬散布用で対象面積が18・9畝、鷹巣地区営農推進協議会会員のうち5名が免許を取得している。

▼農業委員会
Q. 任期満了に伴う農業委員の募集はどのような方法で行なうのか。

A. 町のホームページやチラシにより周知する。



農薬散布用ドローン

傍聴の際は
感染対策を



長島町議会では、傍聴者を随時受け付けています。傍聴にお越しの際は、マスクの着用、手指消毒など新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください。

本会議は、町ホームページやスマートフォン、役場ロビーに設置してあるテレビでもご覧いただけますのでご利用ください。

次の定例会は12月に開会されます。

議会のうごき

7月

- 2日 第2回広報特別委員会 (No.64)
(鹿児島市)
- 13日 正副議長研修会
- 14日 議会運営委員会 (第4回臨時会のため)
- 15日 北薩広域行政事務組合第2回定例会(出水市)
- 16~26日 決算審査
- 19日 第4回臨時会
- 21日 例月出納検査
- 令和3年度長島町戦没者追悼式
- 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
- 28日 第6回革新種苗調査特別委員会

8月

- 2日 鹿児島県市町村総合事務組合議会第1回臨時会
(鹿児島市)
- 18日 第7回革新種苗調査特別委員会
- 20日 例月出納検査
- 23日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
- 25日 決算審査意見報告
- 30日 議会運営委員会 (第3回定例会のため)

9月

- 3~22日 第3回定例会
- 3日 全員協議会・行政報告会
- 7日 行政報告会
- 21日 例月出納検査
- 22日 全員協議会
- 27日 阿久根地区消防組合例月出納検査(阿久根市)
- 第2回阿久根地区消防組合議会臨時会
(阿久根市)

議場の模様替えをしています



白を基調とした議場内の完成イメージ(写真上)と工事のため足場が組まれた議場内

昨年度、役場本所1~3階部分の大規模改修が行われた。
今年度は、本所地下駐車場を倉庫に改修する工事が行われている。9月議会閉会后、工事に併せて3階本会議場の壁や天井の模様替えに着手した。
12月の第4回定例会では、真新しくなった本会議場で、議会が開かれる。



コロナ禍が2年近く続いています。
奈良時代、天平の

流行り病「天然痘」で約150万人が亡くなったと伝えられています。1980年、WHOは根絶を宣言しました。100年前のスペイン風邪では世界で5千万人以上が死亡したと言われています。
当時と比較すると、医療水準や政府・自治体の対応、情報など格段に進歩している今日。コロナ治療薬の開発も進むなど明るい兆しも見え始めています。これまでも人類は、自然災害や感染症など幾多の困難を乗り越えて今があります。

長島の主要作物サツマイモには糸状菌による基腐病がまん延しています。特效薬がなく、農家の苦悩が続いています。困難を乗り越えるため、人類の英知に期待したいものです。
(児玉 誠)

【発行責任者】

議長 林 義明

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 児玉 誠

副委員長 二階堂 猛

委員 池田 安彦

委員 古田 一博

委員 福永 伸親

